

三沢市議会だより

きずな

2020.8.1. No.54

市議会の活動をわかりやすくお伝えします。

スマホからも
お読みいただけます



● CONTENTS ●

特集	P2
定例会開催	P6
一般質問	P10
委員会活動	P14
議員表彰	P15
きずな題字決定	P16

題字に応募いただいた全作品をご紹介します

5月号で題字を募集したところ、たくさんのご応募をいただきました。本当にありがとうございました！

※採用となった題字の詳細は裏表紙にてご紹介いたします

きずな きずな きずな きずな
きずな きずな きずな きずな
きずな きずな きずな きずな
きずな きずな きずな きずな
きずな きずな きずな きずな
きずな きずな きずな きずな

特集1

新型コロナウイルス感染症に
関する市議会の動き

今回の議会日より「きずな」では、新型コロナウイルスに関する状況について特集します。特集1では市議会の動きを、特集2では市内施設での感染対策を紹介します。

視察旅費等の削減を協議（4月30日）

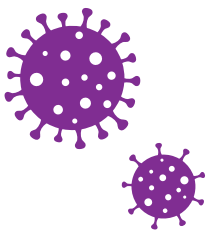
新型コロナウイルス感染拡大による影響が多方面に広がるなか、三沢市議会は4月30日に各派交渉会を開催し、令和2年度の行政視察等についての実施を見合わせることを決定しました。

これは、今年度の行政視察等に要する予算を減額し、市が行う新型コロナウイルス感染症対策事業に充てていただくことで、より一層市民向けの事業の充実を図っていただけるよう市議会として協力するためのものです。

なお、減額する予算の総額は、1千403万6千円で、補正予算で対応していただくよう市に申し入れました。

実施を見合わせた行政視察等

- 常任委員会行政視察
- 特別委員会行政視察
- 議会運営委員会行政視察
- 広報広聴委員会行政視察
- 個人研修
- 姉妹都市派遣事業



4月30日、全議員が出席する全員説明会を開催し、市当局から新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急対策支援事業をはじめとする市の取り組みについて説明を受けました。

新型コロナウイルス感染症対策
緊急支援事業等 8項目

国補助	①特別定額給付金給付事業 ②子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
三沢市独自の対策	③市内飲食業への緊急支援助成金 ④ひとり親家庭等支援米 ⑤学校給食費の4月・5月分無償化 ⑥奨学金の貸付限度額拡充 ⑦感染症対策支援室の設置 ⑧市職員の時差出勤の実施



▲全議員に市長らが事業概要を説明

①は全住民に10万円を給付する事業、②は対象児童1人につき1万円を給付する事業で、どちらも全額を国からの補助を受け実施するものです。
③④⑤は三沢市独自の対策で、より幅広い支援などを図る取り組みでした。
なお、予算措置が必要な事業については専決処分により実施することでした。

市の緊急対策事業等について
全員説明会を開催（4月30日）

三沢市の第2次支援の内容

①【第2次経済対策支援助成金】

新型コロナウイルスの発生及び緊急事態措置により、強い影響を受けている市内の対象業種に対し、当面の運転資金に係る経費の支援を行う。

助成金額：1事業主あたり20万円

②【ふるさと三沢大学生等応援給付金】

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりアルバイト等が制限され、経済的に苦しむ大学生等に対し、学業・生活の支援を行う。

給付額：学生1人あたり10万円

③【体表温度モニタリングシステム】

新型コロナウイルスの感染症の水際対策として、AIカメラによる体温の自動検知、マスクの有無などを検知するシステムの設置により、施設利用者やスタッフの感染リスクを減らす。

市内公共施設、小中学校、児童福祉施設（保育所・こども園・幼稚園・児童館等）などに計約100台設置

※助成金申請等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

5月20日、市当局から新型コロナウイルス感染症対策に係る第2次支援の内容について、会派ごとに説明を受けました。

三沢市の第2次支援では、経済支援の対象を拡充し、市内企業や学生の経済支援が図られました。

また、モニタリングシステムを用いての新たな水際対策も実施することでした。

これらの事業についても、専決処分により実施することでした。

市の第2次支援事業についての 会派説明会（5月20日）



▲6月定例会の様子。全員がマスクを着用し、1席ずつ間隔を空けて着席。

定例会での主な感染症対策

- ・会議室入室時の手指消毒、マスク着用
- ・市当局からの出席者数の縮小
- ・傍聴者に感染症対策への協力を要請
- ・通常時より間隔を空けた席の配置
- ・ドアや窓を開放しての会議室の換気
- ・風邪症状がある場合の会議出席自粛

5月8日と6月2日に開催した議会運営委員会では、6月開催の第2回定例会における感染症対策について協議しました。

協議の結果、議員の会議出席や一般質問、そして傍聴の機会が失われないうよう配慮しながら感染症の拡大防止を図ることとし、以下の対策を実施することとしました。

定例会での感染症対策を協議 （5月8日、6月2日）

特集2

市内施設の 現地取材

6月定例会で審査した新型コロナウイルス対策の予算がどのように使われたのか、市内施設2か所を取材しました。

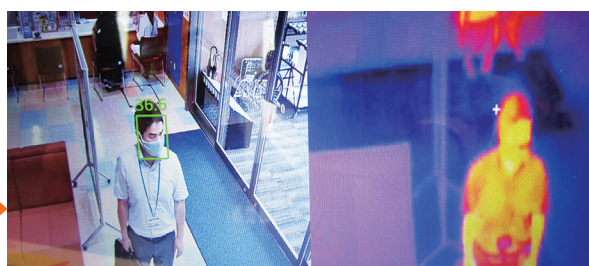
キッズセンター そらいえ



モニタリングシステム

新型コロナウイルス感染症の水際対策として、A-1カメラによる体温検知装置を導入していました。

入口付近にカメラを設置し、来館者の体温とその際の画像を瞬時に記録しています。体温が37.5度以上の方を感知した場合は警報が鳴り、職員が再度の検温など必要な対応を行うとのことでした。



▲施設入口付近のカメラ

拡大

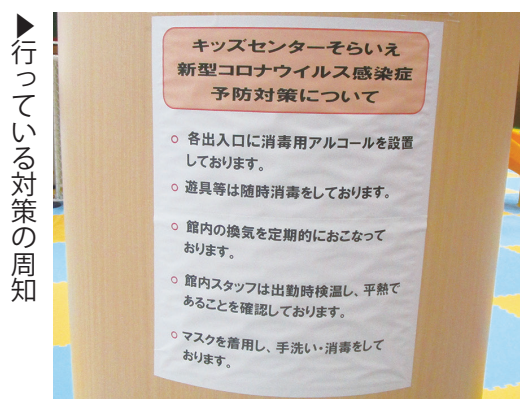


▲パソコンの管理画面。
体温を瞬時に計測している。

その他の感染対策

そらいえではモニタリングシステムに加えて、「手の消毒」「検温・体調確認」「遊具等の消毒」等を実施していました。

また、マスク着用等の注意喚起はもちろん、利用時の3密対策として、遊具や利用人数、利用時間等を制限して、感染症対策に努めているとのことでした。



そらいえの今後のご利用について

7月以降は開館日や利用可能時間を増やしていく予定とのことでした。
最新の情報は市ホームページなどをご確認ください。

子育て支援サイト「ほきのすけの予防接種☆子育てナビ」

三沢市からのお知らせが届いたり、予防接種のスケジュールを簡単に立てられます。
ぜひ一度チェックしてみてください。

三沢市 子育てナビ [検索](#)



特集 2：市内施設の現地取材（三沢市立三沢病院）

三沢市立三沢病院

三沢市立三沢病院を訪問し、感染症対策について取材しました。

三沢病院では、医療従事者が新型コロナウイルスに感染しないよう、職員の県外への移動等を管理しているとのことでした。

また、新型コロナウイルスへの感染の疑いのある患者を診察する目的で、病院敷地内にプレハブを設置し、発熱外来を開設していました。



▲病院敷地内に設置された3棟のプレハブ（奥：受付、左：待合室、手前：発熱外来）



発熱外来受診件数

4月	33件
5月	28件
6月	17件
3か月計	78件



発熱外来では、患者毎に換気や、ドアや椅子などの清掃・消毒をしています。

4月13日から診察を開始し、6月末時点では陽性を確認した患者は出ていないとのことでした。



▲プレハブ内の診療室（発熱外来）



▲診療室内のレントゲン機器

発熱外来のご利用について

発熱外来は、平日の午後、予約制で診察を行っています。帰国者・接触者センター等で発熱外来の受診を勧められた場合でも、事前に症状などを確認し、状況に応じたご案内をするため、来院前に必ず連絡をしてほしいとのことでした。



▲病室



1 簡易陰圧装置

ブース内を陰圧に保ち、患者から発せられるウイルスの拡散を防ぐ。フィルターを内蔵しており、排気時もウイルス等を除去する。



2 人工呼吸器

交換可能な専用の呼気フィルターを内蔵し、機器からの排気によるウイルスの飛散を防ぐとともに、フィルターを交換することで2人目以降の患者へも使用可能。

感染者の受け入れに備えて

三沢病院では、地域内で新型コロナウイルス感染者が蔓延し、県から患者受け入れ要請があった場合に対応できるよう、病室や機材等が備えられています。

今回の議案等

市長提出議案… 26件

議員提出議案… 1件 計27件

令和2年第2回定例会が開催されました

会期11日間 6月8日～6月18日

定例会ピックアップ

今回の定例会では、新型コロナウイルス感染症対策のため必要となった機材の購入や経済対策支援などを緊急に行うため、市長が専決処分（※）を行った予算や、これからの対策に必要な予算及び条例改正をはじめとする議案が提出されました。

市民の皆様の安全・安心な暮らしに直結し、また緊急度が高いこれらの案件について、慎重に審査を行いました。

※専決処分：緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない場合などに、市長が議決に経ずに処理すること。専決処分をした事項は、次の議会招集時に議会に報告し、その承認を求めなければなりません。

令和2年第2回定例会

議員別議案等賛否一覧表

○ … 賛成 × … 反対 欠 … 欠席 退 … 退席 議提 … 議員提出議案

除 … 除斥（地方自治法第117条の規定により、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）

－ … 議長は採決に加わりません。ただし可否同数の場合のみ表決権があります。

種別	議案番号	件名	賛反		議決結果	小比類巻雅彦	久保田隆二	船見昌功	小比類巻孝幸	田嶋孝安	遠藤泰子	下山光義	佐々木卓也	奥本菜保巳	澤口正義	加澤明弘	瀬崎雅弘	西村盛男	春日洋子	堀光雄	馬場騎一	堤喜一郎	森三郎	
			成	対																				
予算案	議案28	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度三沢市一般会計補正予算(第6号))	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案29	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案30	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度三沢市一般会計補正予算(第7号))	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案31	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号))	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案32	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度三沢市一般会計補正予算(第1号))	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案33	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度三沢市一般会計補正予算(第2号))	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案34	令和2年度三沢市一般会計補正予算(第3号)	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案35	令和2年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

種別	議案番号	件名	賛	反	議決結果	小比類巻雅彦	久保田隆二	船見昌功	小比類巻孝幸	田嶋孝安	遠藤泰子	下山光義	佐々木卓也	奥本菜保巳	澤口正義	加澤明弘	瀬崎雅男	西村盛男	春日洋子	堀光雄	馬場騎一	堤喜一郎	森三郎	
			成	対																				
条例案	議案36	専決処分の承認を求めることについて (三沢市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案37	専決処分の承認を求めることについて (三沢市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案38	専決処分の承認を求めることについて (三沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案39	専決処分の承認を求めることについて (三沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について)	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案40	専決処分の承認を求めることについて (三沢市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について)	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案41	専決処分の承認を求めることについて (三沢市税条例の一部を改正する条例の制定について)	16	0	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案42	三沢市健康推進対策協議会条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案43	三沢市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案44	三沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案45	三沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案46	三沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案47	三沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案48	三沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案49	三沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案50	三沢市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案51	地方卸売市場三沢市魚市場条例の一部を改正する条例の制定について	16	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
その他	議案52	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	16	0	同意	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議案53	三沢市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	16	0	同意	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
	議提10	永年勤続議員に対する感謝決議(案)の提出について	14	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	除	除



予算審査特別委員会

6月15日

予算8議案については、8名の議員による予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

主な質疑は次のとおりです。

【議案第28号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度三沢市一般会計補正予算（第6号））】

Q 新型コロナウイルス感染症は少しずつ落ち着きつつあるが、今後への備えは検討しているか？

A 国や県でも様々な支援制度を検討している段階であり、その状況を見ながら検討してまいります。

Q 三沢市独自の対策でさらに必要なことではないか？

A 専決処分した予算により、必要な物資・機材の購入など緊急の対策はできたと考えています。しかし、日々状況が変化しているため、今後も生活支援などを早い時期に検討してまいります。

【議案第32号 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度三沢市一般会計補正予算（第1号））】

Q 新型コロナウイルス感染症の影響により行われなくなる事業も出てくると思うが、それらの予算の用途はどのようになるのか？

A 減額となる予算は不用額にせず、今後補正予算を組む際に必要な事業に充当する予定です。

Q 特別定額給付金が多くの人に支給されたが、このお金が少しでも三沢市内で使われるような取り組みが必要ではないか？

A 魅力あるプレミアム率をつけたテイクアウトチケットを販売するなど、大きなダメージを受けた市内飲食業での消費が促進されるよう、早めに施策を展開してまいります。

【議案第33号 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度三沢市一般会計補正予算（第2号））】

Q 「ふるさと三沢」大学生等応援給付金は、対象者が広く良い制度だと思うが、周知が足りていないように思われる。対象者に直接通知できないのか？

A 制度の周知は、市ホームページや広報みさわ、マックテレビで行いました。

対象者である学生は、転居などにより把握が難しい場合がありますが、保護者が三沢市に住民登録があることも要件としているため、広報等で市内に広く周知を図りました。

Q 申請期限が9月30日までだが、延長する考えはないか？

A 申請状況などを見ながら検討したいと思います。



【議案第34号 令和2年度三沢市一般会計補正予算（第3号）】

Q GIGAスクール構想の概要について伺う。

A ICTなどの先端技術を教育に活用するため、通信ネットワーク環境と児童・生徒1人につき1台の学習用端末を一体的に整備します。今回は、全児童・生徒数の3分の2に当たる小学4年生から中学3年生の分の学習用端末購入を計画しています。また、全ての学年が通信を利用した学習ができるよう、無線LANを各教室等に整備します。

Q 小学校低学年分の学習用端末を整備する予定は？

A 小学校低学年については、高学年が端末を使用しない時間帯に操作に慣れってもらう機会をつくることを想定しています。なお、端末の購入等については、令和4年度までを目標に進めてまいります。

条例等審査特別委員会 6月16日

条例等16議案については、8名の議員による条例等審査特別委員会を設置し、審査しました。主な質疑は次のとおりです。

【議案第40号 専決処分の承認を求めることについて（三沢市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について）】

Q 今回の改正は、新型コロナウイルス感染症の影響により就学が困難となった奨学生への奨学資金貸付金額を増額するためとのことだが、対象期間は令和2年6月分から令和3年3月分までとなっている。今後また感染が拡大した場合、この期間を延長することは想定しているのか？

A 新型コロナウイルスは今後も感染の拡大が懸念されることから、奨学生からの声を聞きながら、また状況を見ながら検討いたします。

【議案第51号 地方卸売市場三沢市魚市場条例の一部を改正する条例の制定について】

Q 三沢市の魚市場は非常に使いやすい施設であると評判が高いが、他地域からの漁船の利用が非常に少ない現状がある。三沢の市場は魚価が安く取り引きされるという話も聞くが、活性化施策を検討しているのか？

A 仲買人が強く、魚価があまり高く取り引きされていない現状であると聞いています。現在、三沢漁協でも独自の販売ルートを開発しており、今後も販売促進を図るなど、魚市場の発展のため調査研究をしてまいります。また、消費者は衛生度が高いものを求めていることから、そのようなニーズに応えられる魚市場を目指してまいります。



候補者の推薦について同意しました

石原 政人 氏

（予定任期：令和2年10月1日～令和5年9月30日）

※人権擁護委員とは…

人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をする民間ボランティアです。市長が地域の候補者を選び、議会の意見を聞いた上で法務局へ推薦します。

【議案第53号】三沢市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

委員の任命について同意しました

中村 均 氏	門上 牧夫 氏	浦田 秀人 氏
宮古 久光 氏	千葉 準一 氏	立崎 京子 氏
種市 廣 氏	一戸 実 氏	川嶋 敏明 氏
月館 啓三 氏	古田 武信 氏	北澤 邦彦 氏
佐々木 和枝 氏	新堂 政登 氏	

（任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日）

※農業委員会とは…

地方自治法で設置が義務付けられている行政委員会。農業・農業者を代表する機関で、農地の権利調整、農業振興対策、農業に関する問題について意見を公表するなど、広範な役割を担っています。

西村 盛男 議員

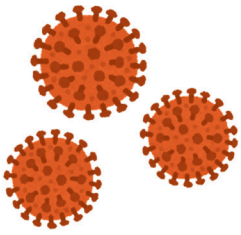


Q 新型コロナウイルス感染症拡大による影響等について、当市の現状と課題を伺う。

A 当市は、幅広い地域から人々が訪れる地域特性があり、今後、第2波、クラスター発生についても十分に警戒し、感染防止対策等に備える必要があると認識しています。

Q 今後、どのような方向性で対策を講じていくのか伺う。

A 市民の生命と財産、生活を守ることを第一に考え、感染リスク軽減への取り組みを進めつつ、市内経済や雇用の維持、市民生活に対する支援を講じていきたいと考えています。



Q 感染拡大に伴い、執行留保となった予算額について伺う。

A イベントに係る補助金等、合計8千500万円を見込んでいます。今後、予算を組み替え、コロナ対策の財源への充当や、将来的財政需要へ備えたいと考えています。

Q マスクや消毒液等の備蓄状況を伺う。

A 現在、不織布マスク約1万1千枚、手指消毒液約50ℓ、施設用消毒液約180ℓ等を備蓄しています。今後、第2波の感染拡大に備え、不織布マスク4万枚、消毒液300ℓを追加備蓄したいと考えています。



田嶋 孝安 議員



三沢・羽田間、1日4往復の復便について本年5月14日羽田空港国内線発着枠「政策コンテスト」の結果、令和3年3月末から1年間トライアル枠を獲得した。地域の経済回復に期待される三沢空港利用促進について伺う。

Q 企業誘致並びに移住定住に繋げる考えがないか伺う。

A 今回の4便化により、首都圏への交通の利便性が一層向上することから、これをチャンスと捉え、事務系やIT系など、多様な業種の企業に対して誘致活動を展開してまいります。移住



定住の促進に関しまして、テレワークの普及により、「地方に移住して働きながら暮らしたい」というニーズの増加が予想されることから、三沢市の強みを生かした移住情報の発信に一層力を入れ、今回の4便化を移住定住促進にも繋げてまいります。

Q 航空券について「ふるさと納税お礼品」や「助成金等」に繋げる考えがないか伺います。

A ふるさと納税のお礼品として、航空券を配付することは、交流人口の増加に期待ができるものと考えており、航空会社等と連携し実施に向けて検討してまいります。また、三沢空港の利用者に対しての割引きや特典等の付与についても、青森県及び周辺市町村等と連携しながら、実施に向けて検討してまいります。

久保田 隆二 議員



○市政運営のデータ活用について

Q データを使った市民等とのコミュニケーションについて伺う。

A 各種計画の策定にあたっては、一般的には、郵送による市民アンケート調査を行い、その結果を集計することにより市民ニーズを把握しつつ、広くパブリックコメントを実施し、さらには各団体の代表者及び市議会議員の皆様からご意見を伺った上で、策定しています。このように計画策定の時点で市民意見を取り入れ、その計画に基づき事務事業を進めることで、市政運営に反映させています。

今後とも、様々な機会を捉えて、広く市民の意見を収集することに加え、ＩＴ技術を活用し、迅速かつ的確に地域課題を把握しながら、市民に信頼される市政運営に努めてまいります。

Q 各部署のデータでの目標値管理や公表について伺う。

A 当市の各部署で所管する各種計画につきましては、基準値や目標値が設定されている目標値管理型の計画があります。

また第二次三沢市総合振興計画の進捗状況につきましては、達成度をグラフ化し、市ホームページにおいて公表しています。

Q 各部署のデータ活用人材の教育や外部人材との連携について伺う。

A データを活用できる人材の育成のため、東北経済産業局が実施している、地域経済分析システムの基本操作及び分析手法等を習得する出前講座を実施する方向で調整しているところであります。

小比類巻 孝幸 議員



Q 「共生社会ホストタウン推進事業」の今後の計画について伺う。

A 東京オリンピック・パラリンピックが1年延期になった影響がありますが、共生社会ホストタウン推進事業は、地域福祉の向上や市内経済の発展において大変重要であるため、関連事業の実施に向けた見直しや調整を行っています。

店舗等へのユニバーサルデザイン推進補助金や「心のバリアフリー」絵画コンクールは例年通り実施予定であり、その他の事業もオンラインやSNSの活用などを検討し、秋以降の実施を考えています。

来年度以降も、市民の方々、関係機関・団体などと連携しながら共生社会の実現に向けた施策を鋭意推進してまいります。

Q 「協働のまちづくり市民提案事業」のウイズコロナ対策への活用について伺う。

A 協働のまちづくり市民提案事業では平成21年度から市民団体との協働事業を展開しており、今年度は新たに中高生チャレンジ事業として対象を生徒にも拡大しています。

現在、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、新たな取り組みとして、地域活性化を図るための情報発信や人材育成のリモート化など、ソーシャルディスタンスを重視した事業などが提案されています。

新たな生活様式の変化を見据えながら、市民団体や学校関係者と連携を強化して積極的に支援してまいります。

奥本 菜保巳 議員



○新型コロナウイルス感染症対策について

Q 第2波、第3波に備えたPCR検査体制は？

A 感染の疑いがある場合は、上十三保健所に設置の帰国者・接触者相談センターに相談していただき、医師の判断によりPCR検査が行われます。県では今後、全自動PCR検査装置を導入、検査を外部委託し、検査可能数を6倍以上に増やす予定とのことです。

Q 市独自の事業者への経済的支援を全事業分野に拡充すべきでは？

A 今後、新たな支援策等について検討し、スピード感を持つ対応してまいります。

Q 飲食店応援のテイクアウトチケットを配付してはどうか？

A 飲食業へのさらなる支援策としてプレミアム付き飲食券事業の実施に向け検討しているところです。

Q コロナ禍の影響で家計が急変した世帯に、年度途中でも就学援助制度を認定すべきでは？

A 年間を通じて保護者の就学援助の相談や認定に関して柔軟に対応してまいります。

Q 「新入学準備金」の三沢市の支給額は10市、上十三地域でも最下位であり、引き上げるべきでは？

A 来年度の新入学生からそれぞれ1万円増額し、小学校2万5千300円、中学校2万8千700円となるよう予算に盛り込みます。

Q 米軍基地内の感染状況等、情報提供を求め公表するべきでは？

A 感染者が発生した場合に、三沢市と三沢基地、関係機関などと連携を強化し、可能な範囲での情報提供を求めています。

春日 洋子 議員



Q 市内避難所の感染症対策について伺う。

A 感染症対策に万全を期すために、避難所の入り口での検温や、発熱など体調のすぐれない方のための専用スペースを確保すること、居住スペースの3密を回避するなどの感染症対策を講じています。また、新たに「非接触型体温計」「手指消毒液」「防護服セット」の導入を予定しており、避難所運営に支障がないよう態勢を整えています。

Q 4月28日以降に出生した子どもへの給付金について伺う。

A 子育て支援策の一環として、新型コロナウイルス感染拡大で不安を抱えながらの出産時に、祝い金を支給する方向で検討を進めてまいります。



Q 「新しい生活様式」を定着させていく取り組みについて伺う。

A ホームページやマックテレビ等を通じ、引き続き危機意識をもって日常生活を継続していただくとともに、国・県からの迅速な情報提供に努めてまいります。

Q 市内小中学校における新型コロナウイルスへの感染症対策と熱中症対策について伺う。

A 衛生管理マニュアルを作成し、万全な感染症対策に取り組んでおり、国の指針を踏まえ、新しい生活様式での熱中症対策を指導しています。また、冷房設備のない学校の普通教室に扇風機を配置しました。



船見 昌功 議員

Q 令和2年4月施行の三沢市教育振興基本計画について基本理念は何か。また、現状の子どもたちの学力や生徒指導上の状況等について伺う。

A 「教育は人づくり 人の中で人になる」を基本理念とし、「豊かな人間性」の育成を目指しています。具体的には、「習慣は第二の天性」推進事業を立ち上げ、「食べる・寝る・起きる」の基本的生活習慣を強化するために「眠育」「食育」を推進し、「依存に負けない習慣づくり」を粘り強く進めてまいります。

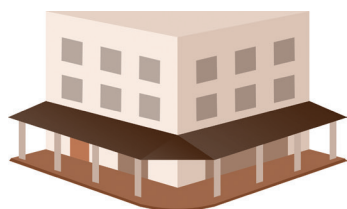
Q 主要地方道三沢十和田線の街灯整備（アーケード撤去解体を含む）事業について、開始時期と予算、対面通行開始時期、また、対面通行とするときの安全対策について伺う。

A 工事開始時期は8月をめどに発注、9月以降に着手予定です。完成は令和4年1月を見込んでおり、予算は、令和2、3年度の2力年で計



1億5千582万円を計上しています。対面通行開始時期は、撤去完了後2カ月間程度で市民への周知と道路標識等の改修を行い、令和4年3月実施予定です。安全対策として、駐車場整備のほか、注意喚起の標識やカーブミラーの設置などを三沢警察署と協議し進めてまいります。

※その他、「選挙の際の投票所入場券送付時や新型コロナウイルス特別定額給付金の申請書類送付時などにおける住所登録の把握状況等について」、「国勢調査に従事する調査員の感染症防止策について」質問を行いました。



【緊急質問】

佐々木 卓也 議員

6月17日に米軍三沢基地内での新型コロナウイルス感染者の確認が報じられたことを受け、定例会最終日の6月18日に緊急質問を行いました。

Q 市がどのような形で情報を知り得たのか。また、その概要について伺う。

A 6月15日に日本国外から三沢基地に到着した一時在留部隊から感染者が数名確認され、基地関係者全員に対し自宅待機命令が出ているとの連絡が、6月17日未明に三沢市に対し米軍三沢基地からありました。

Q 今回の感染者確認を受け、市として今後どのような対応をしていくのか伺う。

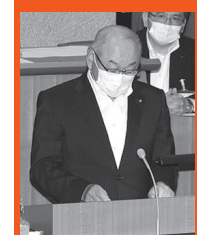
A 引き続き米軍三沢基地と連携を密にし、情報収集に当たってまいります。

Q 万が一、市民に感染者が発生した場合の医療体制について伺う。

A 市立三沢病院においては、上十三保健所からの要請があつた場合に備え、感染者の受入体制を整えています。市民の皆様の健康と安全を確保するため、これまで以上に情報共有を図り、感染症対策に万全を期してまいります。

Q 一時在留部隊全員のPCR検査が実施され、全員の結果が出ているのか。また、濃厚接触者の有無が判明しなければ基地内に封じ込めができていたとは言えないと思うが、いつ判明するのか伺う。

A 隊員や濃厚接触者人数等については、軍事上の秘密で公表できないと聞いていますが、市民への情報提供については、正確にできるだけ早急に提供してまいります。



基地対策特別委員会

5月29日

本委員会は、基地所在に起因する諸問題を調査・解明し、基地周辺住民の民生安定と福祉向上に資することを目的として、令和2年第1回臨時会において設置されました。

初となる会議では、これまで基地対策特別委員会が基地に起因する問題の解決のため国等に対し要望活動を行っていたことから、前委員会が行った「三沢基地周辺対策に関する要望」の内容及び進捗状況について、執行部から説明を受け確認をしました。

その結果、住宅防音工事においては本体工事の待機者数が減少し、待機期間が短縮傾向にあるなど一定の成果が見られる事案もあるものの、三沢飛行場第2滑走路の早期着工や浜三沢地区及び岡三沢地区における移転措置についてなど、まだまだ未解決の問題が多くありました。



そこで、本委員会としては、未解決事案の解消のため、今後も引き続き市と共に「三沢飛行場周辺対策に関する要望」を実施することとし、今年度の要望項目については、第2滑走路や移転問題などのほか、特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額、再編関連訓練移転等交付金の安定的な交付、航空機騒音の規制措置など、全10項目とすることといたしました。

なお、第2回定例会終了後、速やかに要望活動を実施することと決定しましたが、首都圏では新型コロナウイルスの感染者が毎日確認されている状況等もあることから、要望活動についてはその時々々の状況を判断し実施することとしました。

移住・定住促進対策特別委員会

5月26日

本委員会は、三沢市の特色を生かした街の魅力を高めるための各種施策を幅広く調査・研究し、もって、三沢市への移住・定住・交流人口の増加を図ることを目的に、令和2年第1回臨時会において設置されました。

初となる会議では、令和2年3月に策定された『第2期三沢市 まち・ひと・しごと創生総合戦略』において、政策調整課が取り組む移住・定住促進対策事業について調査しました。

市当局からは、第1期の同総合戦略から、引き続き継続して実施している「住宅取得支援事業」「移住情報の発信事業」のこれまでの実績及び今年度の取組みについて、そして第2期の同総合戦略から新たに実施予定の「体験移住実施事業」「結婚新生活支援事業」の概要について説明がありました。



説明を受けた委員からは、新型コロナウイルスの影響により実施が危ぶまれる「移住情報の発信事業」「体験移住実施事業」については、早い時期に事業実施の可否を判断し、予算の活用を考える必要があるのではないかと意見がありました。また、コロナの影響による社会の構造変化に伴い、総合戦略の見直しなど状況に応じて対応することなどではないか、など、新型コロナウイルス感染症に係る状況を鑑み、適切な施策を望む意見が出されました。

今後、市当局が移住・定住に係る事業を進めるにあたり、本委員会の意見を十分考慮し、時宜に合った施策を施行していただきたいと考えています。

三沢市移住サイト  検索

議 員 表 彰

去る5月27日、東京都において開催された全国市議会議長会第96回定期総会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面により開催）において、堤喜一郎議員と森三郎議員が市議会議員在職40年の特別表彰を、小比類巻雅彦議員が市議会議員在職20年の特別表彰を受けられました。そこで、今定例会最終日の6月18日、議事堂において表彰状の伝達を行いました。

また、昭和55年に初当選して以来、40年の永きにわたって議会活動に尽力してきた堤議員と森議員の功績に対し、「永年勤続議員に対する感謝決議」が議員提出議案で提出され、全会一致で可決されました。両議員には、三沢市議会から感謝状と記念品が、また市長から記念品が贈られました。

全国市議会議長会 特別表彰（市議会議員として40年以上その職にある者）
永年勤続議員に対する感謝決議（市議会議員として40年市政の発展に寄与）



堤 喜一郎 議員



森 三郎 議員

全国市議会議長会 特別表彰（市議会議員として20年以上その職にある者）



小比類巻 雅彦 議員

新しい題字が決定しました

きずな



▲議事堂で記念写真を撮影
(左から) 瀬崎副議長、小比類巻議長、田中さん、
加澤広報広聴委員会委員長、久保田同委員会副委員長

5月号で本誌の表紙を飾る題字を募集したところ、市内外から31通というたくさんの応募をいただきました。
6月16日に広報広聴委員会を開催し慎重に審査を行った結果、市内在住の田中智美さんの題字に決定させていただきました。

田中さんには6月25日、議長室にお越しいただき、議長から感謝状を贈呈いたしました。田中さんの題字は、令和2年8月号から令和4年2月号まで掲載させていただきます。

田中 智美さん

見てくれた人がホッとできるような、そして自分自身もお気に入りだと思える字を目指しました。
筆で言葉を表現することの楽しさを実感できました。



▲議長室での感謝状贈呈

小比類巻 雅彦議長

見た人がほっこりとするような、とても良い題字だなと思いました。

おわりに

今回の議会だよりでは、新型コロナウイルス感染症に係る状況について特集しました。
多くの方々の努力が感染の拡大防止につながっています。今後とも、感染拡大防止対策へのご協力をよろしくお願いします。

広報広聴委員会

- | | |
|---------|--------|
| 委員長 | 加澤 明 |
| 副委員長 | 久保田 隆二 |
| 委員 | 船見 昌功 |
| 小比類巻 孝幸 | |
| 遠藤 泰子 | |
| 奥本 菜保巳 | |
| 堤 喜一郎 | |

三沢市議会HP (三沢市HP内)
<https://www.city.misawa.lg.jp/>